■ペドロ岐部カスイ

ペドロきべかすい
パテリ追放令 1587=

キリシタン。追放された宣教師を追って出国、日本人初のパレスティナ訪問も、帰国後、拷問死。

豊後国浦辺で、キリシタン大名大友宗麟の子、義統一家が受洗するも、秀吉の伴天連追放令で棄教した年に、水軍衆の筆頭的存在の家系で浦辺のキリシタンの霊的指導者となったロマノ岐部の子に生まれる。母マリアは岐部氏と同格の波多氏出身。

秀吉全国統一1590= 3歳 :

26聖人殉教・1596= 9歳 :

関ヶ原の戦・1600=13歳 : 父に連れられ、長崎の_イエズス会セミナリヨに入る。

朱印船制始・1601=14歳 : 新築の有馬のセミナリヨに移転に伴い、移動。

この間、ラテン語をほぼ完璧にマスター、

徳川家康隠居1605=18歳 :

江戸城完成・1606=19歳 :

家康駿府退隠1607=20歳 :

教育を修了して、同宿となり、自らカスイの号をつけ、イエズス会入会の仮誓願を立てる。

以後、潜伏しながら、商人・職人・農民に布教活動、

島津琉球支配1609=22歳 : 秋月のレジデンシア同宿、

山田長政渡航1611=24歳 : 甘木に移動、

支倉常長渡欧1613=26歳 : 長崎に一時退去後、エウジェニオ神父に同行して甘木に戻り、

大坂冬の陣・1614=27歳 : 筑前秋月でマティアス七郎兵衛の斬首刑に際し、遺体を長崎に運び、サントス教会に埋葬。

諸法度制定・1615=28歳 : 彼の指を聖遺物として兼帯し、前年国外追放となった宣教師らを追って、マニラを経てマカオに赴く。

徳川家康没・1616=29歳 : 元同宿らと、マカオで復活祭の聖体行列の挙行の原動力となった後、ともにゴアに向かい、

吉原遊郭始・1617=30歳 : かつてアンジローらが訪れ、少年遣欧使節も足跡を残したゴアに到着。

.....1618=31歳 : この年、おそらく弟の岐部五郎兵衛ジョアンが豊前小倉で斬首刑。_ゴアを出航、

菱垣廻船始・1619=32歳 : *ウブツラからは陸路で、バグダード、ダマスカスを経て、エルサレムに入り巡礼、

支倉常長帰国1620=33歳 : *ローマに到着。日本管区代表モレホン神父の配慮で、剃髪式後、守門続いて読師、副助祭を経て助祭、ついに異例の(ローマ教区)司祭となり、さらにイエズス会入会を許され、聖アンドレア修練院に入る。

利根川付替始1621=34歳 : _ローマ学院で倫理神学も学び、教皇パウロ五世が帰天し新教皇グレゴリオ十五世の選出に遭遇。心服していたベラルミノ枢機卿が死去。聖アンドレア修練院に来たミゲル・ミノエスと親交。

元和大殉教・1622=35歳 : _イグナチウス・デ・ロヨラとフランシスコ・ザビエルが聖人に列せられるのにも遭遇。帰国のため、リスボンに向かい、オリヴェタ山のイエズス会修練院に入り、一人前のイエズス会員となって誓願を立てる。

徳川家光将軍1623=36歳 : エチオピア大司教一行とともに、ゴア渡航艦船で出航、喜望峰を越え、モザンビークで越冬。

イバニ断交・1624=37歳 : _ゴアに到着。

寛永寺創建・1625=38歳 : マラッカ経由でマニラに向かい、さらにマカオに到着。マドリッド滞在のミノエスに書簡。

人身売買禁止1626=39歳 : ローマ・イエズス会総会長補佐に書簡。この年、マカオ市が日本への物品書簡送付を禁止。

紫衣勅許無効1627=40歳 : _シャムを目指す途中オランダ船に襲われ、ジャングル彷徨の後、マラッカに到達。山田長政が頭取だったアユタヤの日本人町に入り、身分を隠して滞在。

紫衣事件・1629=42歳 : カルディム神父とともに、_マニラに向かう。

寛永禁書令・1630=43歳 : *日本密航のため、ミゲル松田神父らとルパン島に渡る。ローマ総会長に書簡後、出航するが、難破して座礁、代替船で坊ノ津に着き、取調べを受けるも釈放され、長崎に潜入、

徳川秀忠没・1632=45歳 : この年、ミゲル松田神父が長崎で病没。

この間、イエズス会巡察師らによって何度か消息が伝えられていたが、_仙台藩領水沢に潜伏するうち、

鎖国令V・1639=52歳 : *ポルロ神父・式見神父とともに、捕らわれて江戸送りとなり、將軍家光が臨席する尋問に際して、既に棄教し説得役になった沢野忠庵(フェレイラ)を逆に赤面させ、拷問送りとなって、両神父は棄教してしまうも、屈せず、殉教した。